

中国春季リーグ戦男子1部 Final stage 結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

5/14、15 に広島県立総合体育館において、男女1部 Final stage が開催されました。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

vs 広島経済大学

●2-3 (25-23、25-22、22-25、22-25、12-15)

vs 東亜大学

●0-3 (7-25、14-25、19-25)

vs 山口大学

○3-0 (25-18、25-12、25-19)

- 1位 東亜大学 10勝0敗
- 2位 広島大学 6勝4敗
- 3位 広島経済大学 6勝4敗
- 4位 福山平成大学 5勝5敗
- 5位 島根大学 2勝8敗
- 6位 山口大学 1勝9敗

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

広島経済大学戦では、序盤から取って取られてのサイドアウトが続きました。先行する形にはなっていたため、コート内には余裕も感じましたが、外から見ると、相手の奮闘ぶりが目立ち、ワンチャンスで逆転がある空気感が漂っていました。

3セット目に連続サーブミスから流れを失った後は、広大よりも平均身長が低い相手の独壇場でした。組織的なブロックとレシーブで粘り強くつなぎ、攻撃陣は稲葉以上の存在感があった1年生エースを筆頭に、速いクイックを巧みに織り交ぜるセッターのトスワークに翻

弄され続けました。相手はどのスパイカーも力強く踏み込めていて、この試合に勝ちたい思いも、試合を楽しむ姿も、広大を上回っているように見えました。

広島経済大学は最終戦でも島根大学に快勝し、仮に両チームこのままの状態の中四国を迎えた場合、今度は間違いなく0-3で敗れると思います。広大は、プレーの一部分を切り取ったら、東亜、平成とも遜色ないポテンシャルを持った選手が数多くいますが、その強みに依存している印象で、それゆえ身体への負荷も大きいように映ります。

最後まで戦い抜いたことで、22年ぶりの2位を勝ち取ったことは事実ですが、今まで格下と思っていたチームが、自分たちではこれまで疑ってこなかった、エース、セッター、そしてチームプレーの面でもう先に行かれていることは潔く受け止めなければいけません。長所に頼るのではなく、長所を生かすためにはどうすればいいか、誰かが負担を背負いすぎることなく、大所帯だからこそ支えあえるようなチームに成長して欲しいと思います。

今週土曜日は春季リーグ入替戦が行われます。

2部2位の広島大学女子は、1部5位の広島国際大学と対戦します。

引き続きよろしく願いいたします。